

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(10/11)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値 にIIIを 加味)	I 目標に向けた取組 の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と 地域独自の取組の状 況	III 現地調 査時の指 摘事項及 び対応状 況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
次世代型農業 生産構造確立 特区 (山口県等)	正	C 3.2	B 3.6 進捗度 ・農業所得額の増 加(※) ・光熱動力費削減 額(※) ・経営の多角化等 による新たな雇 用の確保 171% (※)は定性的評価	B 3.3 規制の特例等 ・国庫補助事業で 整備した施設の財 産処分手続きの簡 素化 財政支援等 ・国営緊急農地再 編整備事業等 地域独自の取組 ・需要対応型産地 育成事業等	-0.25	<p>・<u>具体的な評価は26年度の農地整備事業の完成を待たなければならぬ</u>。関連事業は順調に進展していると思われるが、進捗状況の把握方法については検討が必要と思われる。特に、<u>光熱動力費削減(※1)については目標の再検討が必要ではないか</u>。</p> <p>・全体の事業実施には農地再編整備や再生可能エネルギー施設導入など先行投資的な準備が必要になるため、直ちに実績を得られないが、<u>その準備に関する取組み(※2)は着実に進められている</u>。</p> <p>※1: 光熱動力費削減については、花き園芸用ハウスへの太陽光発電の導入を計画していたものの、国の補助事業の公募に落選するとともに、事業実施主体での資金調達も困難となったことから、計画が白紙となっている。</p> <p>※2: 農地整備事業完成後の担い手として25年度には3つの新たな農業生産法人が設立された。また、雇用確保につながる農産物加工施設の整備など6次産業化の取組みが進められている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。